令和６年能登半島地震
白山市内へ避難された方・避難を検討している方へ

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。白山市では一日も早い日常を取り戻せるよう支援・情報提供を行っております。

被災された児童生徒（小中学校）の受け入れについて

- 一時的な避難のため住民票を移動しない場合でも就学可能です。
- 教科書は学校で配布します。
- 就学援助制度の相談も受け付けています。

【お問い合わせ】
白山市学校教育課
TEL.076-274-9571

コミュニティバス乗車無料について

被災し白山市で避難生活をされる人に白山市コミュニティバス「めぐーる」の無料乗車券を交付します。

《必要書類》❶本人確認書類
❷り災証明書・り災届出証明書※
❸委任状（代理申請の場合のみ）

※証明書が不要な場合もあります。詳しくは問い合わせてください。

【お問い合わせ】
白山市交通対策課
TEL.076-274-9548

市民温泉等の無料開放について

被災された方に市民温泉等を無料開放します。

《対象施設》
松任海浜温泉おつかりさま、めおと岩温泉ラクヨウ、バードハミング鳥越、鶴来ほうらい荘、白山里、千丈温泉清流、白峰温泉総湯、千代野会館　※受付で氏名と住所を記入してください。

【お問い合わせ】
白山市いきいき健康課
TEL.076-274-2155

このほか生活支援に関する情報などは、白山市のホームページで随時お知らせしていますのでご確認ください。

活動レポート

2023年7月以降の活動の様子を写真で紹介します。

7月20日
次世代エネルギーパーク（小松市・木場潟公園東園地）視察

7月20日
梯川（小松市）の被災地視察

7月26日
白山登山

8月1日
あさがお常設展（白山市・JR松任駅前）訪問

8月24日
複合型ワイナリー（北海道・仁木町）視察

8月25日
サケの水中観察ゾーン（千歳水族館）視察

9月24日
献穀田御抜穂式（白山市小川町）参列

10月26日
メルクル山島健康クラブの皆様と石川県庁災害対策本部室見学

11月7日
奥能登国際芸術祭2023「家のささやき」（珠洲市・鉢ヶ崎海岸）鑑賞

2024年 2月5日
能登半島地震・被災地視察

県政の相談や地域のお困りごと相談はこちらへ

安実隆直事務所

〒924-0865　白山市倉光五丁目 106-1 グレイス K1F
TEL & FAX.076-205-8299　E-mail takanao@anjitsu.jp
https://anjitsu.jp
安実隆直　検索

最新情報は公式facebookで配信中

安実 隆直 ANJITSU TAKANAO
県政報告誌

今日も 安実 大吉 たいあん きちじつ

大きな安心と安全な暮らしをきっちり実現します

VOL.14
令和６年３月発行

ごあいさつ

寒さも和らぎ、木々が一斉に芽吹く季節となりました。今年はこれまでにない厳しく、つらい年明けとなりました。1月1日に最大震度7の能登半島地震が発生し、石川県を中心に未曽有の被害をもたらしました。令和6年能登半島地震の被害に遭われた皆さまに改めて心よりお見舞い申し上げます。また被災地で懸命の捜索活動や復旧作業に従事されている方々に感謝申し上げます。平穏な日常が一日でも早く戻せるよう県議会議員の一人としてしっかり取り組んでまいります。

能登半島地震でお亡くなりになられた方の死因は、家屋倒壊だけでなく、土砂災害や津波などの被害も報告されています。いま一度、自分の住んでいる地域の地盤の特徴やどのような自然災害のリスクがあるのか、避難所の場所などハザードマップで確認しておきましょう。また、各家庭で食料と水は最低3日分を備蓄したり、家族同士の安否確認の方法を決めたり今からできることに取り組みましょう。

3月16日には、北陸新幹線の敦賀延伸で県内全線開業となります。能登半島地震で県内の経済にも大きな影響が出ている中、新幹線の延伸が復興の後押しにつながるよう職責を全うしてまいります。

石川県議会議員　安実隆直

CHECK!

地震や洪水、津波・高潮などいざという時に備えて確認を！

←白山市ホームページ

←白山市地震あんしんマップ

PROFILE プロフィール

〔あんじつ・たかなお〕
1964（昭和39）年8月18日白山市矢頃島町生まれ。松南小学校、松任中学校、石川県立松任高校、石川県農業短期大学卒業。手取川七ヶ用水土地改良区勤務を経て、2013（平成25）年2月白山市議会議員初当選～2期。19（平成31）年4月石川県議会議員初当選、23（令和5）年4月2期当選。
《所属会派》自由民主党石川県議会議員協議会
《所属委員会》環境農林建設委員会（副委員長）、観光・文化スポーツ特別委員会

スマホでも活動報告をぜひご覧ください

⇦裏面の「活動レポート」もぜひご覧ください。最新情報はホームページやスマホでチェックしてください。

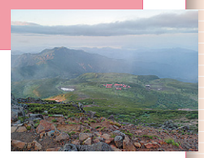
県議会・録画中継をご覧いただけます

県議会・会議録もご覧ください

発言者検索で「安実」と入力してください

2023.9.20
県議会定例会 一般質問

白山登山の観光新道について



Q.7月、3年ぶりに白山登山を行い、下山時に「観光新道」を選んだものの、道が狭く、急で険しく、「観光」と付く名で安易に選択すると危険だと感じた。今後、県として10年間で白山登山者を10万人に倍増を目指す中、登山道の整備を含めどうしていくつもりなのか。

A.観光新道は、昭和24(1949)年に白山観光協会の設立を記念して名づけられたと聞いている。足の負担が大きいルートなので、登山者に適切なルートを選択できるよう県のホームページでも周知するとともに、危険箇所の整備をする。白山登山のみならず自然体験や食、文化など白山麓を含めた全体で10万人を目指し、オーバーツーリズム(観光公害)にならないよう総合的に対応していく。

【2024年予定】令和6年度当初予算で白山登山道改修費3,000万円計上

JR西日本金沢総合車両所松任本所の跡地について

Q.JR西日本金沢総合車両所松任本所は、北陸新幹線敦賀延伸開業に伴い、閉所すると発表があった。松任本所はJR松任駅北口に隣接し、敷地は13万平方メートルあり、スタジアム・アリーナ構想も含めた利活用を考えてはどうか。また、JR西日本と白山市との協議に県も参画するべきではないか。

A.跡地の利活用は、まず所有者のJR西日本とまちづくりを担う地元白山市が協議しながら検討するものと考えている。スタジアム・アリーナ構想でいえば、金沢から近距離の小松市内に民間企業のアリーナ機能を備えた施設が計画されていることを踏まえ、西部緑地公園の新産業展示館に当初予定していたアリーナ機能は整備しないことにした。

【2024年予定】白山市は跡地活用などを進める「まちづくり推進室」を新設

石川県水産総合センター美川事業所の活用について

Q.石川県水産総合センター美川事務所(白山市湊町)では、サケを増殖させるため手取川に回遊する親魚から採卵し、ふ化放流事業を行っている。サケの放流や遡上の観察施設としての活用を考え、老朽化した施設をリニューアルすべきではないか。

A.石川県はサケの遡上の南限とされ、サケの遡上を身近に感じ、河川を教育の場に活用することは大変有意義である。11月、8年ぶりに同事業所の一部を開放し、遡上するサケの様子を観察してもらい、美川事業所の役割も県民に理解を深めていく。同事業所は一部で老朽化がみられるものの、修繕で対応可能だと思っている。

2023.12.14
県議会予算委員会 質疑

\ Pick up! /
県産子牛の市場価格下落について

Q.成長すれば能登牛などになる県産和牛子牛市場価格が低下し、県内の繁殖農家が経営危機に陥っている。1頭当たりの平均価格は今年10月に49万8千円となり、昨年4月の67万円に比べて25%下落した。能登牛を安定供給していくためにも、子牛の品質や価格向上に向けて県はどのように取り組んでいくのか。

A.全国的な子牛価格の低迷は、ロシアのウクライナ侵攻などに伴う飼料価格高騰が影響し、肥育農家が子牛を買い控えていることが原因だと思っている。このような中でも、子牛の販売価格を上昇させるため、人気の血統の情報提供をしたり、子牛の育成技術向上研修会を開催したりするなど品質の高い子牛の生産を図っていく。

石川県立大学体育館の老朽化について

Q.石川県立大学の体育館は、前身の農業短期大学開学時に建設され、築53年が経過している。災害時、野々市市の拠点避難所にも指定されているので、早急に建て替えるべきではないか。

A.耐震補強等の大規模改修からも21年が経過しており、野々市市の拠点避難所という点も踏まえて体育館の状況を石川県立大学に確認する。

酪農の新規就農について

Q.県内の新規酪農家は、この数十年で1人しかいない。厳しい経営状況や後継者問題などもあり、廃業も相次いでいる。酪農の新規就農者の対策や支援策をどう考えているのか。

A.畜舎の建設費など初期投資を軽減する補助や、金融機関と連携した国の新規就業補助金の支給、離農予定者と就農希望者のマッチングによる牛舎や機械等の生産基盤の継承などに取り組んでいる。

委員会質疑

2023年10月24日　観光・文化スポーツ特別委員会

並行在来線の運賃について

Q.松任駅と新設される西松任駅は1.9キロしか離れていないのに金沢駅からの料金が松任駅より40円高い270円になる。往復で80円アップすれば、新しい駅も利用しなくなるという意見が出ている。JRの運賃体系を引き継ぐのは分かっているが、決めるのはIRいしかわ鉄道だと思うので考えを聞きたい。

A.距離で公平に決めているので特別扱いすることは正直難しい。同程度の距離の区間はIRいしかわ鉄道で10区間以上あり、国に提出している収支計画にも大きく影響を及ぼすので見直しは難しいと考えている。

2023年11月9日　環境農林建設委員会

高齢者ドライバー対策について

Q.高齢者の痛ましい運転事故が多発している。県は高齢者ドライバーの対策でどのようなことをしているのか。

A.県内各地で高齢者向けの安全運転相談会を実施している。具体的には自動ブレーキなどを備えた技術安全が備わった安全運転サポートカーの試乗や運転シュミレータで身体機能の低下を体感してもらっている。自動車免許の自主返納制度も紹介しており、市町のバス券のサービスなども周知していく。